

トライボロジー研究室の紹介

EF-304 室

★研究室の目指すもの

流体の流れを能動的にコントロールできる機械の表面設計*を通して、エネルギーロスや振動が小さい、快適で安全な機械を実現します。

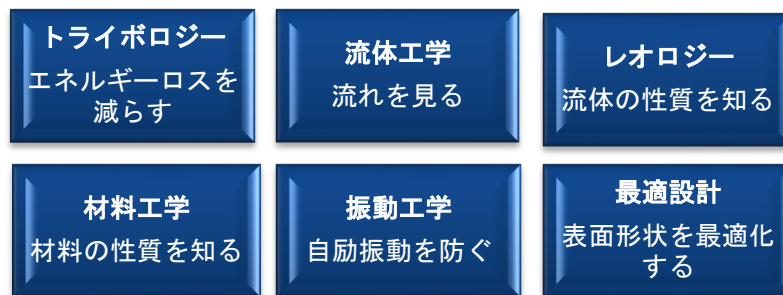
*摩擦や流れの抵抗を引き起こす表面の設計



トライボロジーは動くもの、つまり、すべての機械に関わります。研究・開発者が望んだ機械性能を得るためには、トライボロジーを知り、機械設計に生かすことが不可欠になります。

※流体工学の基礎的な研究も行うことができます。

★研究室で学べること



- 実験（実験装置の設計開発を含む、CAD）
- 流れの数値シミュレーション（ANSYS など）。材料、熱、振動などのシミュレーションも可能
- 流体潤滑解析（計算コード開発を含む）
- 研究成果の発表（論文、国際学会、国内学会）
- 英語

★その他

- 大学院進学者は、海外の学会に参加して口頭発表、英語論文発表をしています。
- 国内外（日本、アメリカ、フランス、マレーシア）の大学と共同研究を行っています。
- 国内企業と共同研究を行っています。
- 英語は、レベルを問わず、“英語をできるようにになりたい人たち”が集まって勉強しています。
- 大学院生（博士後期1名、博士前期3名）、大学院進学希望者（博士前期4名）が沢山いますので、先輩たちと一緒に、研究活動を通して自分を思いきり成長させることができます。